

おし図書館

No. 62

発行 代表 青木 和子
 松本市総合 830-160
 TEL 057-155884

九月市議会報告 (2)

会報No.61に引き続き市議会報告をします。ただし、答弁は聞きとれない箇所が多々あり、記録が不十分である事をご了承ください。

・質問 (吉野議員)

これまでの図書館政策(分館、

県内で人口規模同程度の市川・船橋と図書館費など過去5年間の比較、おはなしキャラバン、司書の配置、

図書館協議会、選書基準、利用者

用端末、利用者調査)について

・答弁(生涯学習・総務企画の各

本部長)

分館(9)は、身近な所に図書館が

あるという事である目的は達した。必ずしも悪いと評価してはいない。

他市との比較(内は県内順位)

図書費	134(22)	142(21)	187(15)
蔵書冊数	119(30)	135(24)	158(27)
貸出冊数	388(16)	635(8)	246(24)

松戸の図書館費全体の中で、

図書購入費に比べておはなしキャラバン関係費が増えているのは必要経費であり、人件費。

司書は職員36名中16名。全国平均50%なので率は低くない。

選書の基準は内規による。専門家の検閲になってしまふ事を恐れる。児童書については評価

の定まったものを厳選。一般書

は、リクエストに答えるが、それが必ずしも良いかどうか。利用者にとりて使いやすいようになっていく。

端末のシステムは変える必要があるかと思っている。

利用者調査については教育委員会が意見を聞いてきた。新しい図書館については、何らかの手段を考えねばと思っている。

・質問

新たな図書館政策の確立に向けて(今後の図書館政策の基本方向分館主義から地域館主義へ、新図書館―生涯学習会館―建設へ向けての取り組み、建設準備会、用地選定サービス改善・司書・館長の選任について)

・答弁

市内で対応できないものは、他市・県立・国立図書館から取寄せ90%以上貸出す事ができた。図書館相互に貸出すべきで、市内にす

べて揃ってなくてもよい。松戸に

は、県立西部図書館があるので、

松戸市のサーブラス面で評価すべきだ。

建設準備会については、図書館

利用者だけが市民ではないので、

いろいろな市民を含めて今後の図

書館がどうあるべきかを考えたい。

館長としては、司書資格よりも

経営能力のある者を優先したい。

外部から選任するというのは内部

には人材がいけないという事になる

が、そういう事はしない。内部に人

材は、いる。

用地については会報No.61を参照。

生涯学習会館と図書館は一体のも

のとして考えている。図書館の現況

をし、かくと評価して、次にどのよ

うなサーブラスが必要かを考えていく。

市民との合意形成を図りたい。



・再々質問は「要望」として

松戸市の現況は、周辺自治体

や市川・船橋と比べても、また

県内でも遅れており、良い状態

とは言えない。

第一次実施計画の見直し作業

の中でも図書館建設は後退させ

る事なく進める意志との事だが、

用地を断念した事で計画が宙に

浮いてしまう事を懸念する。遅

滞なく進めてほしい。

浦安市立図書館建設時の浦安

市長のポリシーを聞いて、感銘

を受けた。新しい図書館を作っ

てもポリシーがなければ決して

良いものではないと思うので、

ぜひ、ポリシーを持って望んで

ほしい。

~~~~~

以上が図書館についての吉

野議員の質疑応答の概要です。市が作る議事録が出来上がる

のは数ヶ月先なので、不十分ではありますが、とやあえす。報告します。



# 全員協議会とは

「松戸市政の概要」

H11年度版

松戸市議会

事務局発行

第二章 議会

議会の構成

各種会議

・全員協議会

議長が会議を主宰し、規定に基づき、市政諸般の問題に

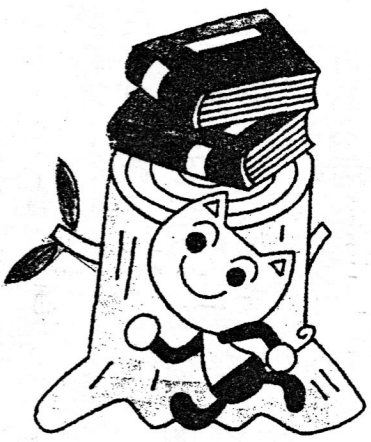
ついで研究、協議する。

以上、図書館の資料で調べました。

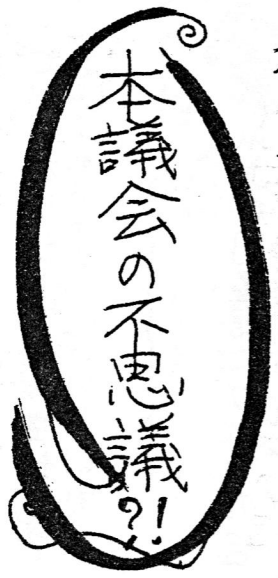
「全員協議会」とは「協議」する場であり、「説明」する場ではないのです。

なお「おはなしキャラバン」関係費と、図書購入費との比較および周辺自治体との比較を、後に掲載します。

文責 青木 和子



松戸市



北村 直代

9月7日、吉野さんの図書館政策に関する質問を傍聴しました。

中央図書館建設の経緯はすでに報告されていて、建設も既定の事と捉えてよさそうなので、今回の問題は、大蔵省関税中央分析所跡地を、中央図書館用地として取得するのを断念するという事でした。

傍聴していて私が驚いたのは（たぶん私だけではなく、傍聴していた他の人も）、吉野さんの質問に対して、総務企画本部長

は「答弁しない」という答弁をした事でした。

本会議で答弁しない？・市民を代表しているはずの市議会議員の質問に対して執行を委任されている市職員が答弁しないなどという事が、しかも、本会議で、どうして許されるのでしょうか。本議会の前に全員協議会で説明したからと、本会議で経過説明すらしないのでは、何のために本議会を開く必要があるのか。

どうして松戸市は、市民に説明する事から逃げるのか。納得できない事はかりです。しかも、私達には市に説明させる何の力もありません。

松戸市は納税者である市民に説明する責任があるのではありませんか。



(カント・山田明子)

松戸市と近隣自治体の公共図書館の蔵書数と人口

図書館費予算額 (平成3~12年)

(単位:千円)

| 年度 | 図書館費    | 図書購入費  | キャラバン<br>関係経費 |
|----|---------|--------|---------------|
| 3  | 240,182 | 73,002 | 30,749        |
| 4  | 332,717 | 78,476 | 40,761        |
| 5  | 330,625 | 81,811 | 44,357        |
| 6  | 314,425 | 63,571 | 46,536        |
| 7  | 337,158 | 74,644 | 48,354        |
| 8  | 367,399 | 68,236 | 51,131        |
| 9  | 362,196 | 69,796 | 56,855        |
| 10 | 391,794 | 70,347 | 59,712        |
| 11 | 366,781 | 70,339 | 61,996        |
| 12 | 343,474 | 70,341 | 63,411        |



青木 和子 様

市長専用FAXを送信いただき、ありがとうございました。

前回にもお答えいたしましたように、当該用地の取得は断念するものの、決して「生涯学習会館」の建設を断念するものではありません。その実現の具現化に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今後その実現については、十分市民の方々並びに議会との話し合いを深めて46万都市に相応しい、かつ21世紀に誇れる「生涯学習会館」実現のために努力してまいります。

なお、大蔵省関東財務局千葉事務所に対しましては、松戸市として、正式に<sup>注</sup>用地取得の要望書を提出しておりますし、また、口頭で何度もお願いしております。今回は、取得を断念いたしました。が、何卒、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 12 年 9 月 19 日

松戸市総務企画本部企画管理室

9月市議会傍聴後、再び市長へのファクスを送りました。同様のものを、受け取った方もふられると思っております。その全文を掲載します。  
 傍線部分<sup>注</sup>については、「官報市政」のH.6年1月6日、正式に要望書を提出したことを指しています。